



日本の知恵、
プラスチックの知恵

日射しや埃から、商品を守る一垂れ

暖簾



「ちよっと寄っていくか」と、蕎麦屋や焼き鳥屋の軒先にかかる暖簾をかき分ける。さて、その暖簾は何枚で一垂れひとたになっていたでしょうか。店名や屋号を染めた木綿の暖簾の分かれ目はだいたい奇数の「七五三」。その心は、割り切れずに余りが出るところから、商売繁盛を願ったものだったそうです。

暖簾の由来は、禅寺の御堂の入り口に簾と帷をかけた、冬の寒さを防いだことから。それが江戸時代には商店の店先で日射しや埃で商品が汚れたり傷むのを防ぎ、いつしか店舗の看板のような存在になっていきました。

そして住友ベークライトのポリカエース®。「ラクア」は、防汚性能が画期的なポリカーボネート樹脂。太陽によって防汚層がつかられ、雨による洗浄効果で汚れが低減できる「親水防汚開発品」です。また、従来通り採光材として紫外線や熱線などを緩和する優れた性質も持ち、屋外の幅広い分野で使われています。

ポリカエース® Raqua (ラクア) 親水防汚グレード

「親水防汚性能」と「耐傷付き性」を付与したポリカーボネート樹脂。「ラクア(Raqua)」には、「水(aqua)」の力でメンテナンスが楽になるという意味が込められています。プラスチックの中でもトップクラスの耐衝撃性と、透明度も安全性も高い採光材として、プラットホームやアーケードの屋根、カーポートなどさまざまな用途に期待されています。

